

一般質問



板木 正則 議員



録画映像

質問1 マイナンバーカード普及促進の取り組み内容は、臨時窓口の拡大や会議等で積極的な周知活動をする

問 国のポイント付与事業や市としても夜間・休日窓口、平日専用窓口の設置などでマイナンバーカードの取得率向上を働き掛けていると思います。

今後の普及促進や活用方針についてお知らせください。

答（市長） デジタル社会の基盤となるツールであることから、健康保険証としての利用や、公金受取口座の登録、新型コロナウイルスワクチンの接種証明書の取得など、その利活用シーンの拡大を図っています。本市におけるマイナンバーカード取得枚数と取得率については、令和4年4月1日時点で累計取得枚数1万5千903枚で34・8%となっています。

マイナンバーカード普及促進の取り組みについては、夜間及び休日における臨時窓口の開設を7月から総合分庁舎と両支所にも広げ、また、これまでも実施してきた休日における商業施設での出張窓口も継続して開設するほか、各種団体の会議等において、積極的に周知活動に取

り組んでいます。

活用方針については、国の動向にに応じて有効な活用方法を検討してまいりたい。

問 マイナンバーカードを利用した住民票など各種証明書のコンビニ交付の導入について考えをお知らせください。

答（副市長） まずはマイナンバーカードの交付率を上げ、国の動向を見極めながらカードを使ったコンビニ交付に関して検討をしてまいりたい。



マイナンバーカード（見本）

質問2 経済に対する回復基調を後押しする施策も必要では
市長 今後、商工会が行う事業への対策支援の実施を予定

問 新型コロナウイルス感染症の影響により、いまだ市民や事業者が様々な影響を受けているかと思っています。

北斗市においても徐々に経済は回復基調にはあると思いますが、今後は回復基調を後押しするような施策も必要と考え

ますので、市の考えをお聞かせください。

答（市長） 今後は、社会経済活動の回復が期待されますが、昨今の資源高と幅広い分野の物価高騰は、消費の下押し要因となっていることから、生活支援・消費喚起対策として、地域経済緊急対策応援キャンペーン事業と水道料基本料金等の免除を本定例会補正予算に計上しました。

また、経済の回復基調を後押しする施策としては、感染対策として設置する空気清浄機などの購入費用を助成する北斗市感染症拡大防止事業を実施、今後は、商工会が行うライオンクーポン事業への支援を行う地域商業ウィズコロナ対策支援事業の実施も予定しています。

問 市内事業者や商店会等に、昨年同様の支援が必要と考えますがいかがか。

答（水産商工労働課長） 今年度は、ライオンクーポン事業に一本化していますが、参加店の登録状況や感染状況の変化などを踏まえて、検討・判断してまいりたい。

質問3 私道や私有地（空き家）を寄附するとされた時の対応は
市長 私道については要件が満たされた場合に限り受け付けている

問 北斗市内の個人所有の私道は舗装していない道路が多く、住宅街での私道では車が通る際のはりが原因で苦情が寄せられることもあると伺っています。

また、私有地（空き地）では環境の悪

化による苦情もあると伺っていますが、市の対応について伺います。

(1) 私道や私有地（空き地）に対する苦情があった場合について。

(2) 私道や私有地（空き地）の購入を市に求められた場合について。

(3) 私道や私有地（空き地）を寄附するとされたときの場合について。

答（市長） (1) 私道や私有地について、原則は所有者等の対応となります。

ただし、私道については、砂利補充や塩化カルシウム散布などの要望があった場合、状況を確認しながら、市が対応する場合もあります。

私有地については、条例等で管理不全状態に対し指導を行うほか、蜂の巣などがある場合は、市が駆除を行っています。

(2) 私道、私有地については、市による購入は原則行いません。

(3) 私道については、北斗市道路認定基準により、要件が満たされた場合に限り、寄附を受け付けています。

なお、私道整備については、住環境の改善を望む町会要望などに対応するため、整備が進まない要因である、測量費用の個人負担や、寄附を希望される私道敷地内における支障物件の整理などについて、現在検討を行っているところです。

私有地については、購入を求められた場合と同様、寄附は受け付けていません。